

2020年度 地理情報システム学会
「初等中等教育におけるGISを活用した授業に関わる優良事例表彰」

休校期間におけるオンライン等を用いた地域学習 —唐津地域学習— ～新たな故郷、唐津について知ろう～

早稲田大学系属早稲田佐賀中学校・高等学校
岩崎 誠也 (いわさき せいや)

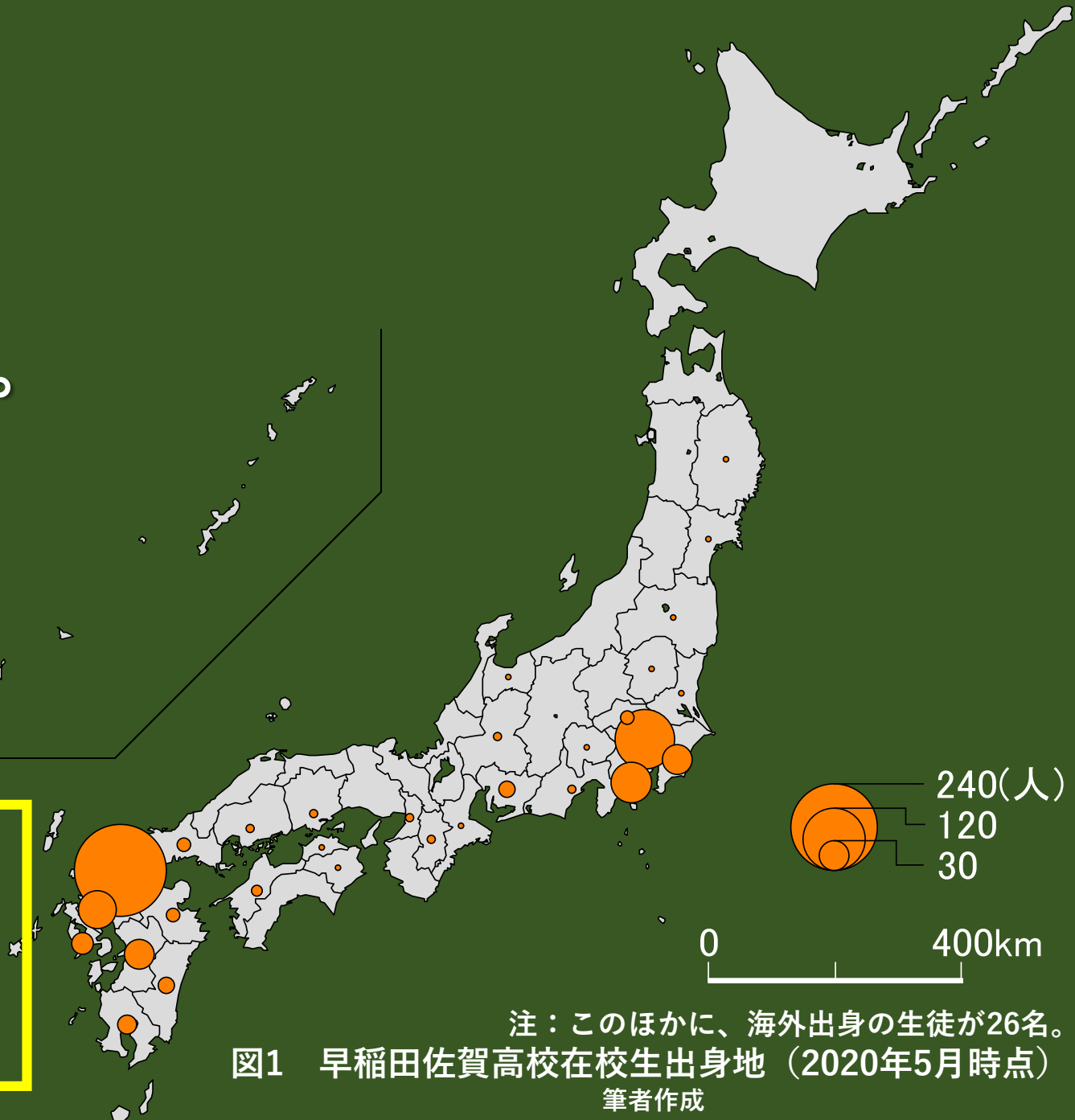
はじめに(1)

○本校の特色

- ・早稲田大学の系属校として、
2010年に佐賀県唐津市に開校。

→全国から生徒が入学し、多くの生徒が寮生活を送っている。

学校の所在地である佐賀県唐津市出身の生徒はごく一部。

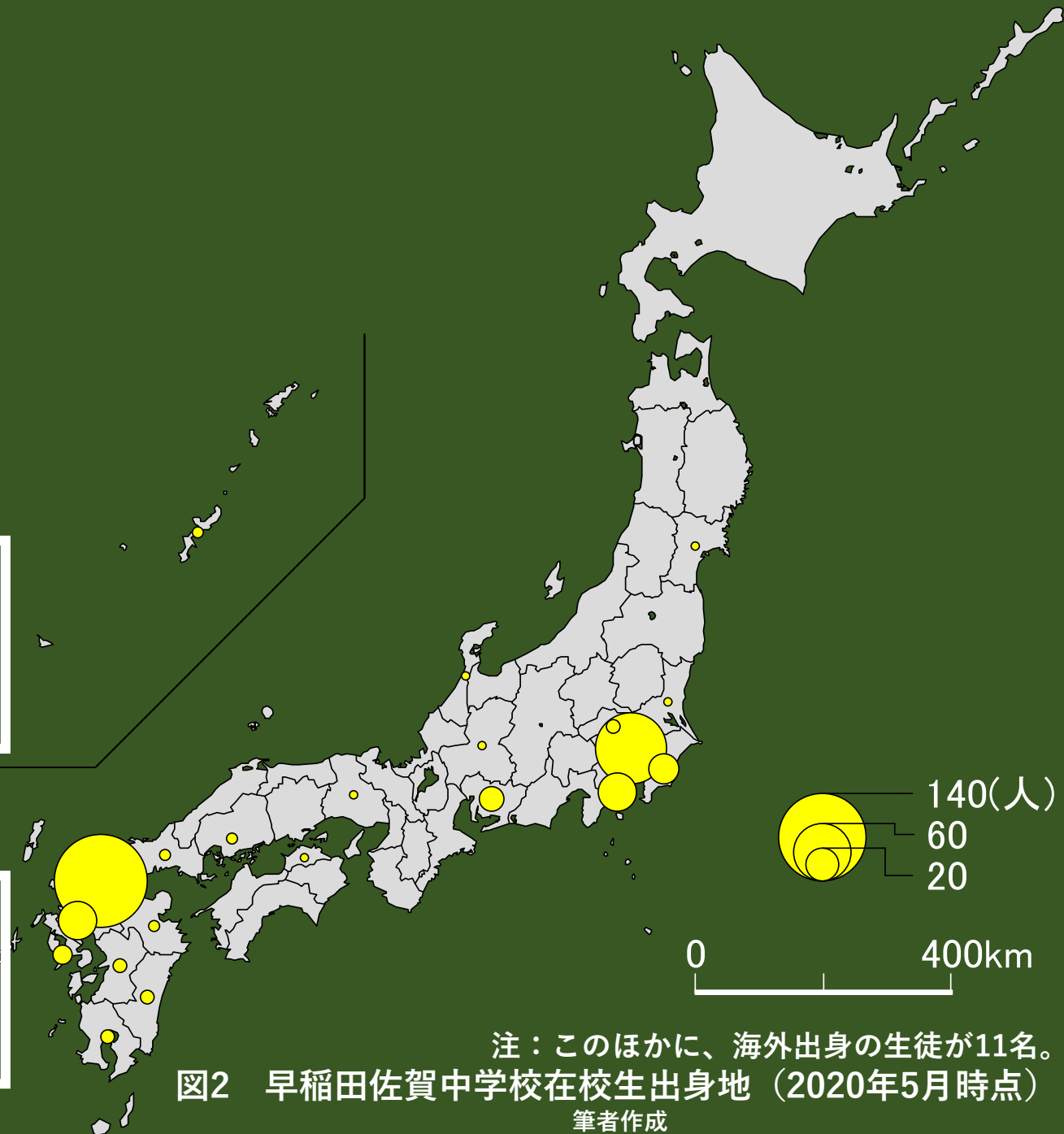


はじめに(2)

○入試会場が、本校だけでなく、
首都圏・名古屋・福岡(博多・北
九州)・熊本と多い。

入学するまで、唐津にほとんど
来たことがない生徒も存在。

唐津に対する基礎知識や空間
認識は非常に乏しい。



本校の取組み

☆中学1年生

- ・唐津学習…鏡山登山、唐津城見学、唐津焼体験など
→唐津の歴史や文化に触れあう活動を実施。

☆高校1年生

- ・「大隈重信ゆかりの地探訪」を毎年実施。
→佐賀市内の大隈重信生家などを見学。
(コロナウイルス流行のため、本年度は未実施)



写真 本校の正門から見える唐津城

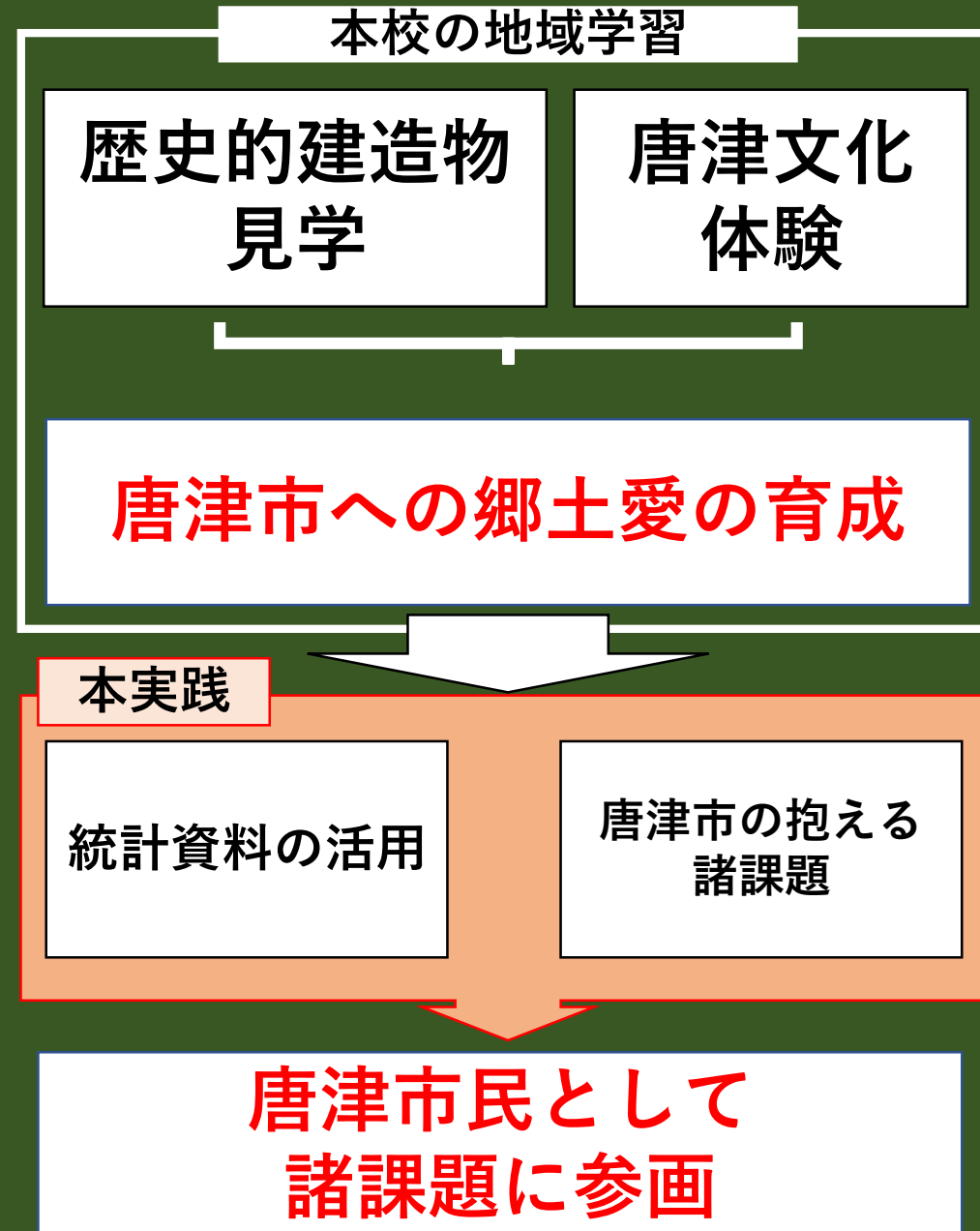
○本授業実践の狙い

- ① 中1・高1での総合的な学習における唐津学習では、**歴史的建造物の見学や伝統文化などの体験活動が中心に展開。**
- ② 唐津市の統計情報や佐賀県内での立ち位置、唐津市内の様子などに対する理解は乏しい生徒が多い。
(→コロナウイルス流行のため、入学前に家族などで唐津旅行できなかった生徒も多い。)
- ③ コロナウイルス流行の中で、対面ではなく「ZOOM」や「VIMEO」などの動画配信を用いて授業を行う際に、いきなり教科書内容から学習するのは、生徒の心情を配慮して避けたかった。

以上を踏まえて・・・

- ・生徒の関心も比較的高い唐津市の地域学習をおこなった。
→対象学年は、中学1年生と高校1年生。
- ・これから中学生の場合は6年間、高校生の場合は3年間住むことになる唐津市に対する興味・関心を高める。
- ・統計資料などの活用の仕方などを理解する。
→高校生には、地域学習を終えた後、学習していく地図の種類などへの布石としての狙い。

本校の地域学習の現状に対する本実践の役割



✓ 授業内容

- ・教員が地図ソフト「MANDARA」を利用し、地図を作成。
→その地図をもとに唐津市の地域的特色などを理解する。

例)

唐津市の人口構成

佐賀県各市町村との人口比較

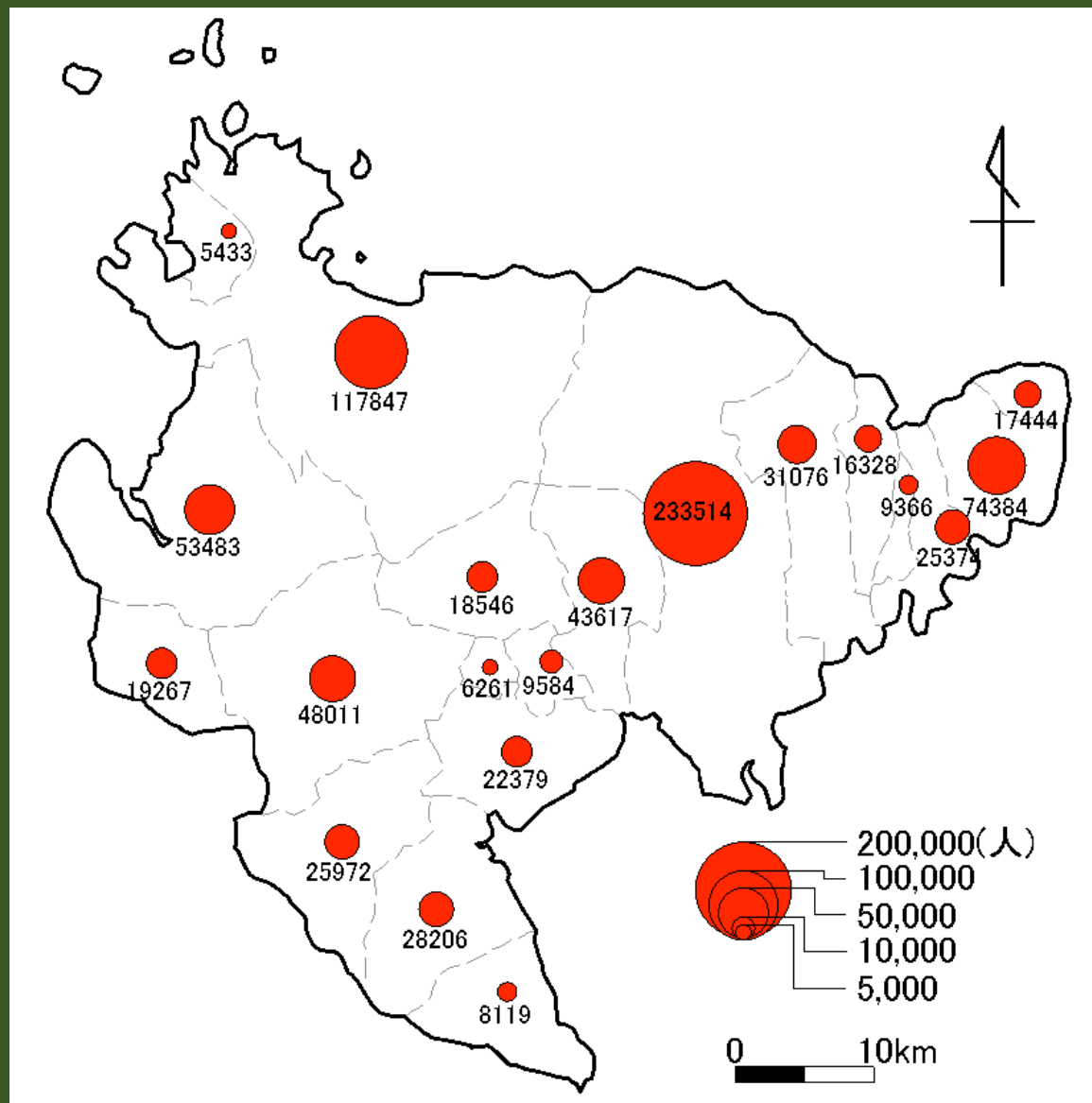
主要産業の比較

福岡都市圏としての唐津市の位置づけ

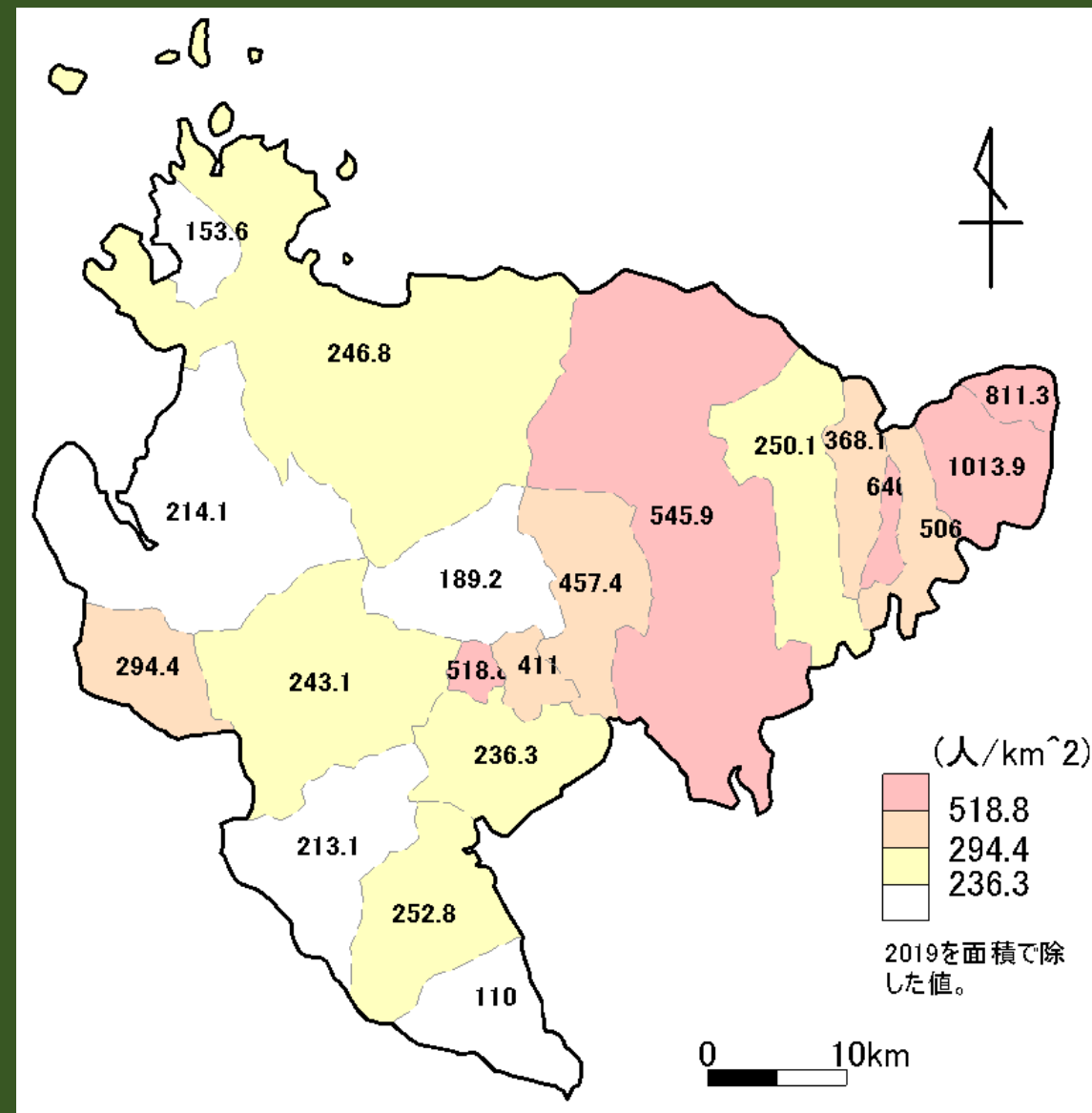
→通勤通学者の割合（福岡市などから電車で通学する生徒も多い）

全国や九州内の主要港との水揚げ量の比較

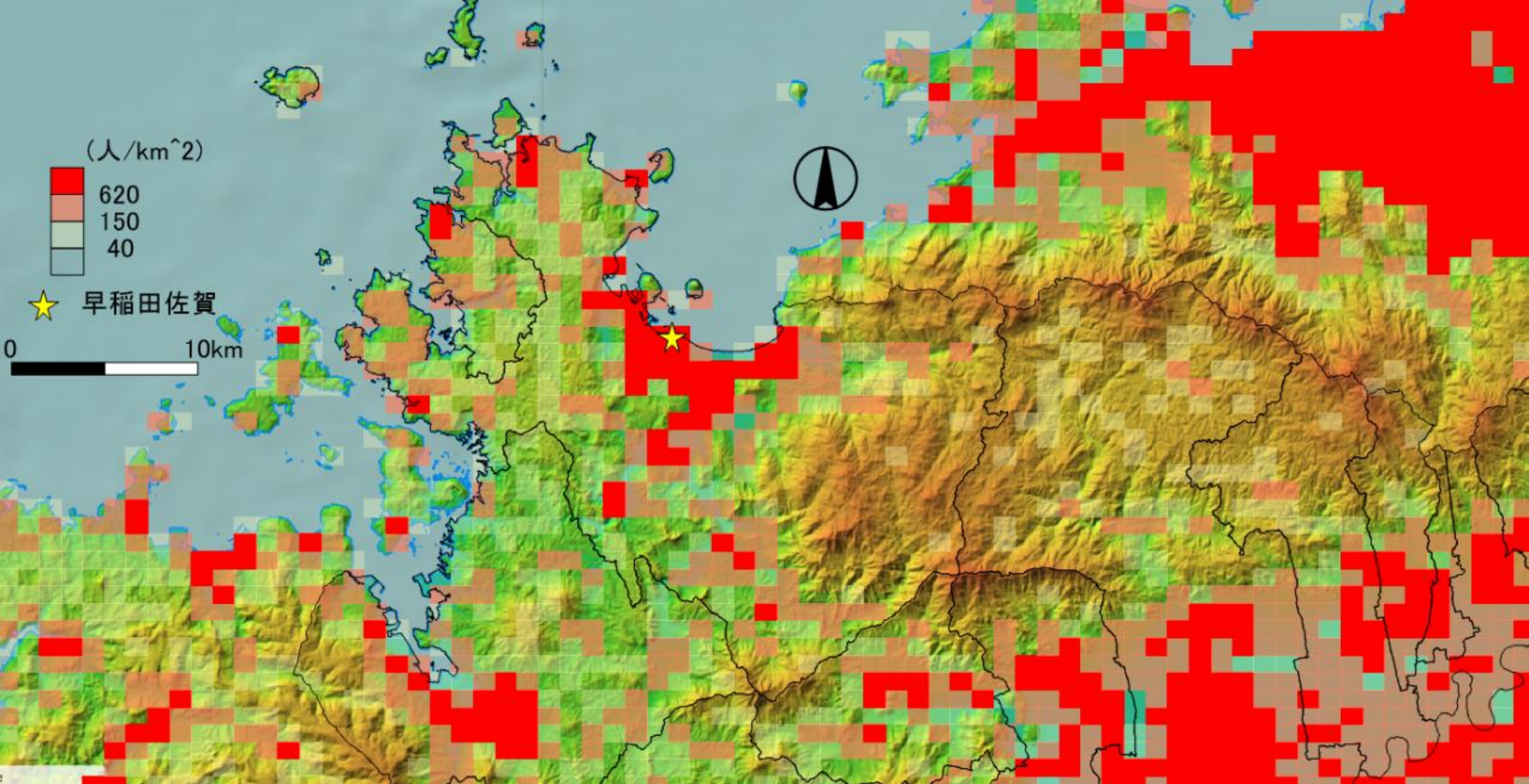
利用した地図の一部



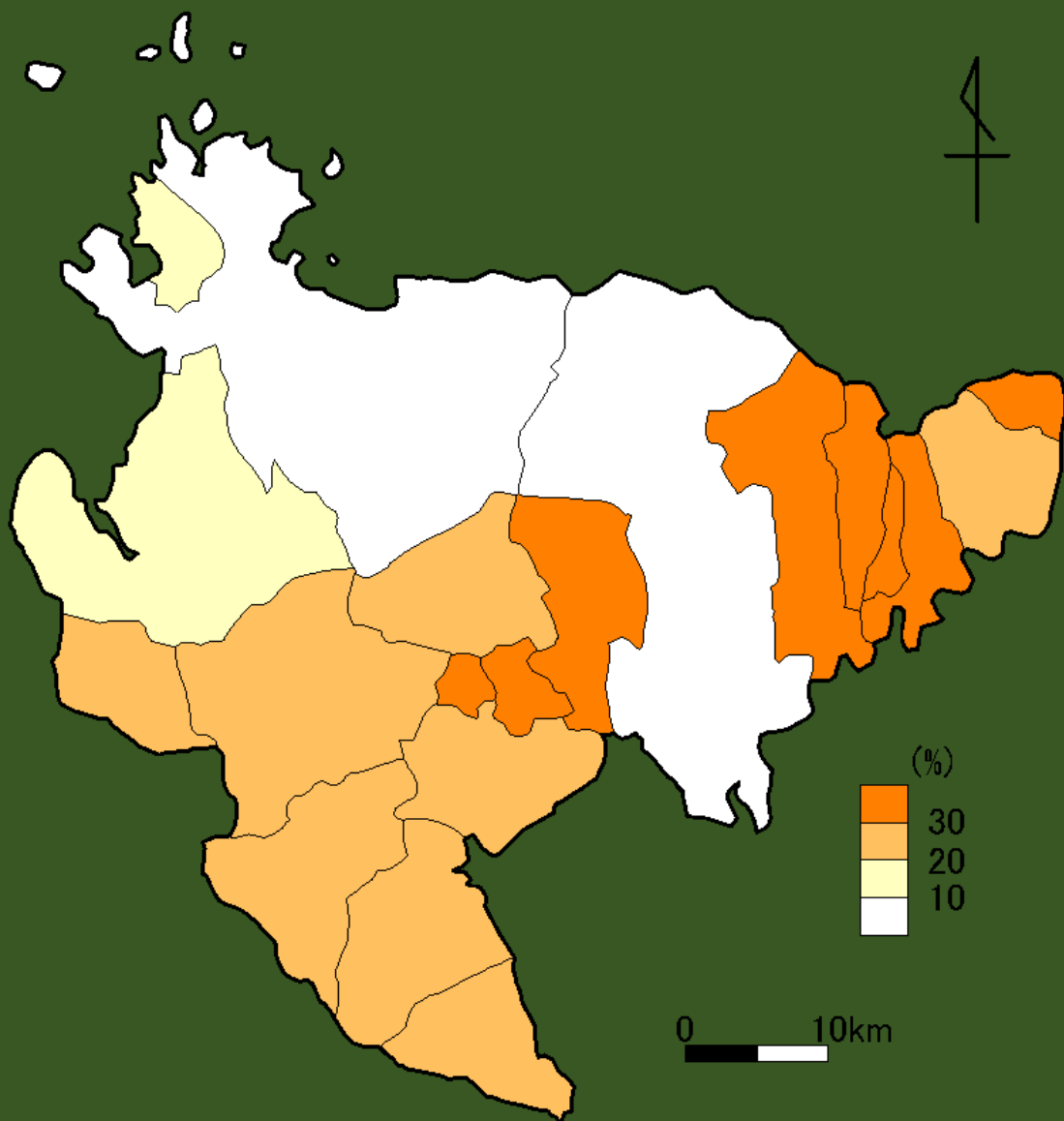
図：佐賀県内の人口



図：佐賀県内の人口密度



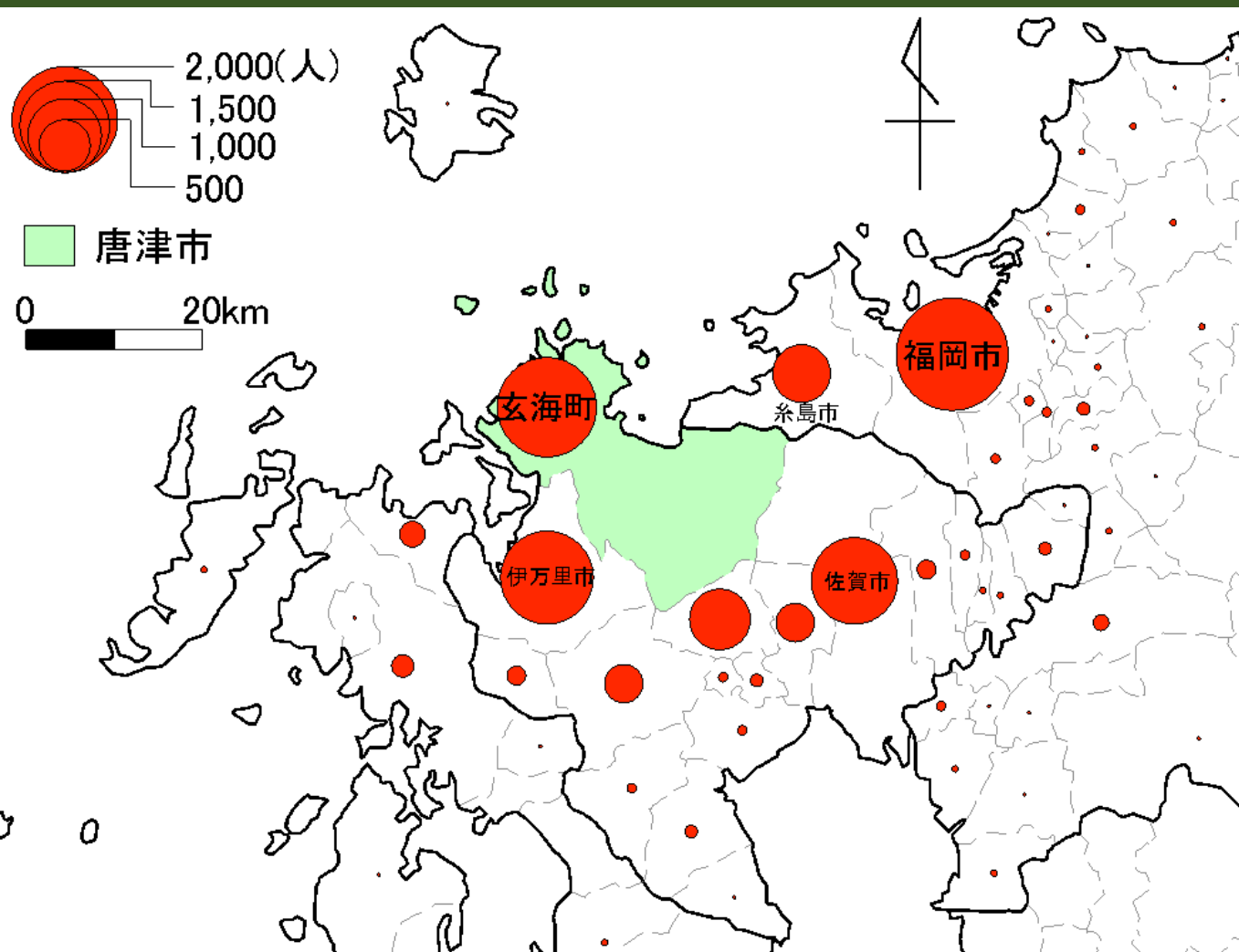
図：唐津市内の人口密度(2015年)
国土数値情報より作成(背景は国土地理院色別標高図)



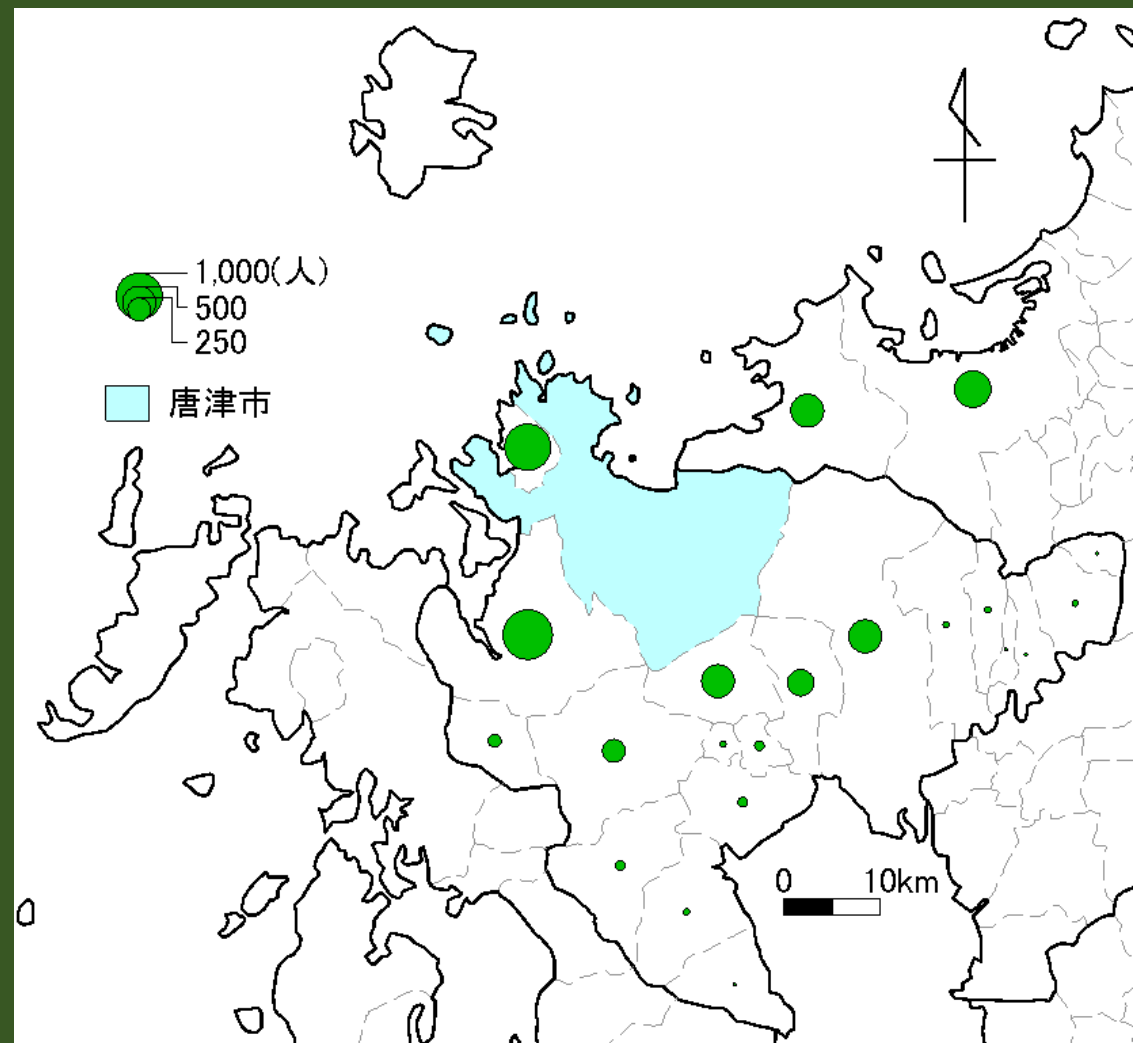
図：佐賀県内における県外を含む他市町村への通勤・通学者の割合
国勢調査(2015)



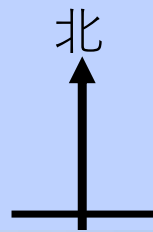
図：佐賀県内における県外への通勤・通学者の割合
国勢調査(2015)



図：唐津市の唐津市外への通勤・通学者の分布
国勢調査(2015)



図：唐津市への他市町村からの通勤・通学者の分布
国勢調査(2015)



本実践の役割

- ・数字を並べるだけでなく、地図化して表現することで生徒が空間的に唐津市の位置づけについて学習・理解できた。

- ・本学習のまとめとして、「唐津市と自分の住んでいる地域について、何か一つのテーマを決めて比較して調べてくる。」という課題を行った。

→条件として、必ず地図を一つ付けることを課し、多くの生徒が本授業内で扱った図形表現図や階級区分図を自分で作成していた。

(オンラインでの授業のため、生徒が課題を郵送して提出)

興味をもったもの	人口について
タイトル	人口減少と未来のつながり

<人口の特徴>

唐津市の人口はおよそ 122,875 人。その中で年代別に人口を見てみると、

年少人口率(15 歳未満)→13.65%

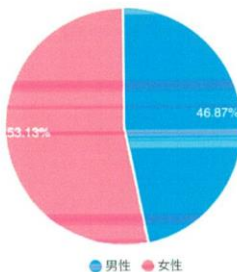
生産年齢人口(15～64 歳)→55.39 %

高齢人口率(64 歳以上)→30.96%

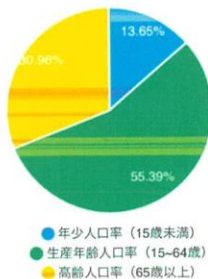
となっており、唐津市でも少子高齢化が進んでいることが数値から読み取ることができる。唐津市の人口は全国 792 市で 213 位に値する。しかし現在は人口が減少していく毎日で、人口減少に歯止めをかける施策を早急に考えるべきだと思う。

ちなみに男女別で人口を比較してみると、**男性は 57,547 人 女性は 65,238** と女性の割合が多いことが分かる。これは唐津市だけではなく、女性の平均寿命が男性よりも長いことから全国的に女性の方が多い傾向がある。

人口比率(男女) 2015年

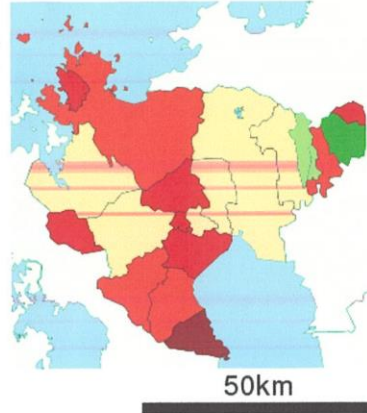


人口比率(人口階層別) 2019年



<https://www.seikatsu-guide.com/info/41/41202/1/>

<佐賀県における人口増減>



唐津市がある佐賀県に視野を広げて、人口増減について見てみる。佐賀県の人口は 2012 年 4 月現在、約 84 万 3 千人で全都道府県中 42 位 (6 番目に少ない)。左の図は佐賀県市町村人口増減率分布図で 2005 年度から 2010 年度の増減を表したものである。図から見てわかるように、増加している市は 3 都市しかなく過半数の都市が減少傾向にある。人

口の減少が進むにつれ地域経済・地域社会において深刻な影響が生じる恐れがある。

(増加 ■ 5.0 - 7.49 % ■ 2.5 - 4.99 % ■ 0.0 - 2.49 % 減少 ■ 0.0 - 2.5 % ■ 2.5 - 5.0 % ■ 5.0 - 7.5 % ■ 7.5 - 10.0 %)

<まとめ>

このような現状分析から将来の人口減少により想定される地域社会への悪影響を抑えるためには、出生率の減少などによる自然減と人口移動による社会減を減らしていく必要がある。また、将来にわたって地域の活力を維持することが求められるのではないかと考える。

出典一覧

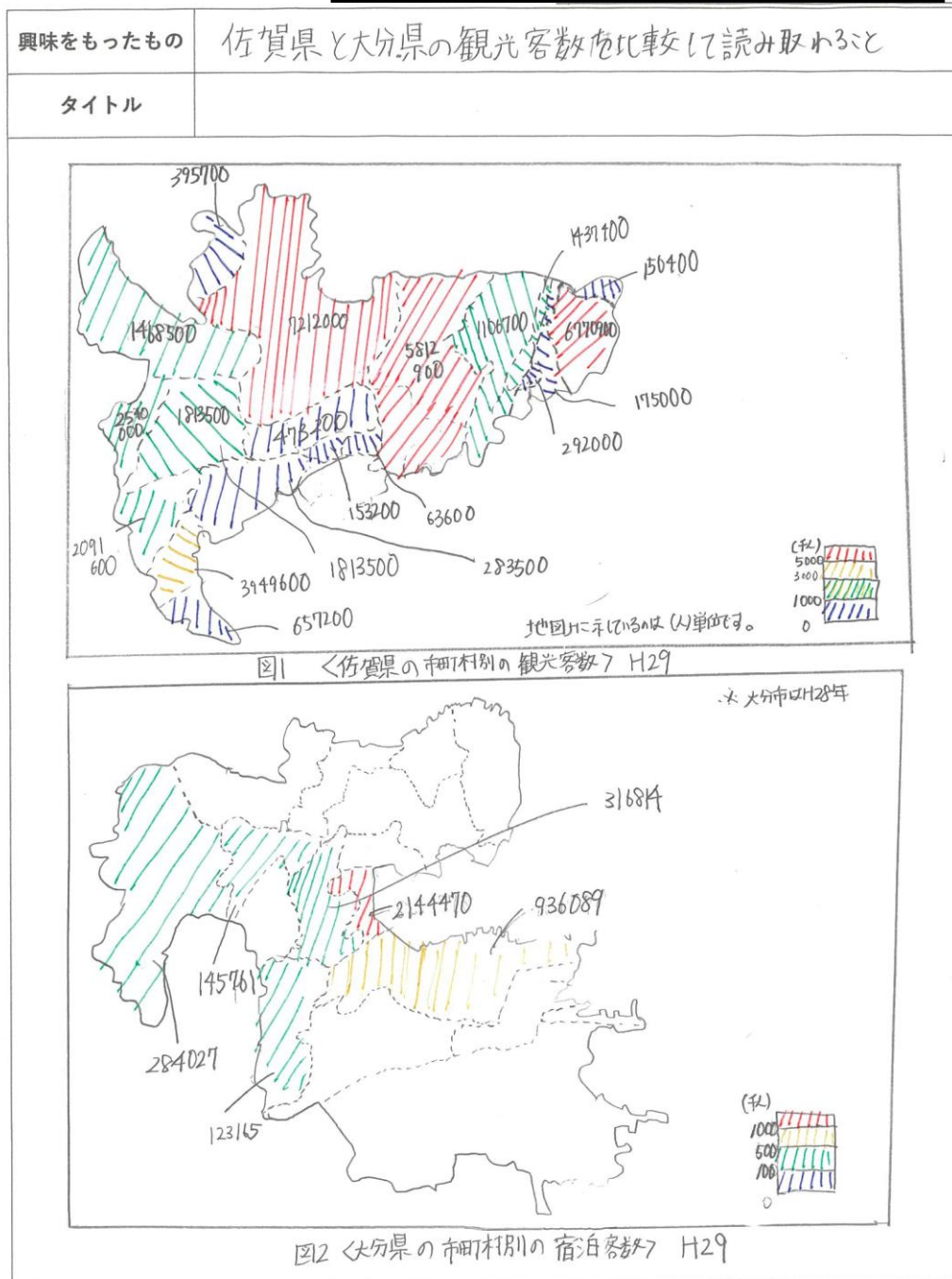
・生活ガイド. com 唐津市:統計データ

(<https://www.seikatsu-guide.com/info/41/41202/1/>)

・Wikipedia - 佐賀県

(<https://ja.m.wikipedia.org/wiki/佐賀県>)

・人口増減について、地図で階層別に色分けして、グラフを用いたりして、よく考察をしています! good job! 福 A+



1. <佐賀県から読み取れること>

唐津市は陶器や唐津くんちなどで観光客が多く集まっていることが分かる。ところが、同じ陶器が有名な有田町や伊万里市はあまり観光客は集めていない。また、佐賀市はバーフェスタさかなどで11月頃に観光客が集まるので、多い。

2. <大分県から読み取れること>

大分県の別府市は温泉で有名なので、観光客が断然と多いことが読み取れる。一方、隣の由布市は観光客が同じ理由で集まりそうであるが、38万人ほどと1桁違う。おそらく、由布市は「ふゆの森」で行くことができるが、本数が少ないので、交通の便があまりよくないのかもしれない。一方、別府市は「青いソング」や「山ソング」で計30本大分行き方面の電車が走るため、交通の便が良いのかもしれない。

3. <大分県と佐賀県との比較>

大分県では面積の小さい別府市に異常な宿泊客数を集めていて、県庁所在地の大分市は、別府市よりも圧倒的に少ない。

一方で、佐賀県は知名度のある唐津市や県庁所在地の佐賀市など、密集する場所がいくつかある。

- ・大分県と佐賀県で調べる対象が異なっているので、正確に比較できていないものがあるかもしれない。申し訳ありません。
- ・大分県の宿泊客数のデータは、もつのデータしかありませんでした。申し訳ありません。

出典一覧

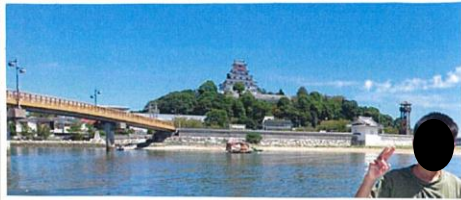
1. 大分県観光調査- 大分県ホームページ
2. 佐賀県観光調査- 佐賀県ホームページ

・佐賀県と大分県、観光客数の分析おもしろいですね！最近の授業で学習しましたが、絶対数を示す場合は、ドットマップや記号×スミなどで客数を示すといいですね！大変分析としてはよく頑張りましたね！



A+

興味をもったもの	唐津の町中に残る唐津城の城下町跡
タイトル	唐津城について、その魅力である町中に残る城下町跡を調べ、 外から見た町中と比較



観光資源・施設別入込（平成24年）



「動機」

唐津に来て最も驚いたことは、町中そして城内に、立派な石垣などの唐津城の城下町跡が点在していた。江戸時代と現在が融合した観光地として魅力があると感じたので、現在ある城下町跡を調べてみました。

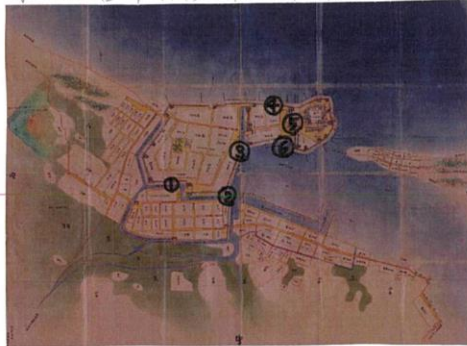
「意義」

唐津市は、福岡市から車で約1時間であるので日帰り観光も可能です。また、福岡市から、長崎へ移動するルート上にあり、途中で観光することも可能です。唐津の観光資源は、町中で、唐津城は最も人気があります。唐津城は、立派な天守閣はもろくもなく、町中に残る石垣などの城下町跡も魅力があります。

「目的」

町を歩いて、なぜここに石垣があるのだろうと、感じていました。町中に残る石垣などの城下町跡は、江戸時代の城下町跡の場所を示している。江戸時代の地図と現在の地図を照らし合わせて、分りやすくするために、他の町と比較しました。比較は、唐津市と同じく復元した城を観光資源としている小浜市としました。

肥前国唐津城迎絵図（出典②）



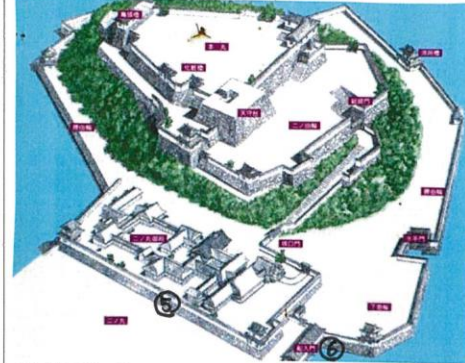
肥前国唐津城迎絵図は、正保元年（1694年）に幕府の諸藩に介して作成された城下町の地図です。

現在の地形図（出典③）



現在の地形図

唐津城内の案内板（出典④）



①肥後源

二の丸の堀、唐津中役所前にある。



④二の丸北側石垣

二の丸北側に残された石垣。



Google Map 3D 衛星写真



②二の丸北側石垣

三の丸東南隅に建てられた石垣。



⑤二の丸南側石垣

早稲田佐賀の城址内の石垣。



③二の丸北側石垣

旧河道と二の丸の堀に利用。



⑥船入門跡

幕末文政の出入りに利用。



出典一覧

①魅力ある観光地域づくり推進モデル事業

佐賀県唐津市 実施報告書

②国立公文書館デジタルライヴ

③唐津 玄界灘と遙かに望み 村大在 擬似天守をもつ城下町

④お城散歩 日本の城のサイトブック / サイトマップ

⑤城と陵墓と城 今まで知られなかった城と城の歴史の雑記 小田原城

小田原城と唐津城を古地図等を利用して現在の比較は、
行っており、非常に面白いです。唐津城にもっと観光地化してほしいです。

※枚数無制限ですので、足りない場合は、コピーや用紙等を使って記述してください。

どのような図が必要なのか？ 必ず、見つけたら教えて下さい！

興味をもったもの	自分の住んでいた地域と唐津市全体の共通点や違いについて
タイトル	唐津市と門司区の意外な共通点

私はこの課題で唐津市と私が住んでいた門司区を人口や産業を中心に比べてみました。

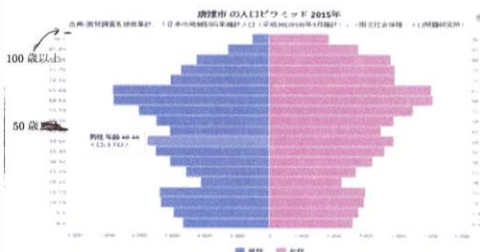
門司区とはどこ？

門司区とは福岡県北九州市にある小さな区です。右の地図は唐津市と門司区を表しています。右の山口県に近い方が私の住んでいた門司区です。門司区の面積は73.4 km²、唐津市は487.6 km²なので門司区の方が面積はとても小さいです。

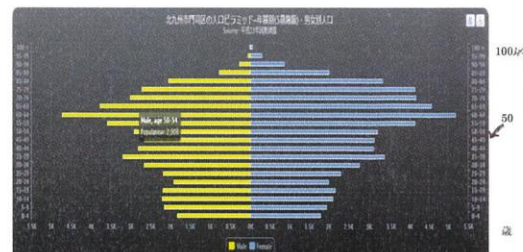


唐津市と門司区の人口の差

2019年の唐津市の人口は、120443人であり、門司区の人口は、94602人です。人口差は25841人で唐津市のほうが多いですが、下の2つのグラフからもわかるようにどちらの地域も高齢者の人口、特に60代の人口の割合が高く、高齢化の進んでいる地域です。このことから私は両地域では、高齢化の進む産業である農業や林業が盛んだと予想しました。



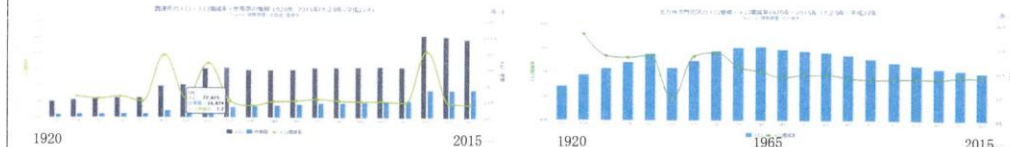
男性 女性
唐津市の男女別人口ピラミッド



男性 女性
門司区の男女別人口ピラミッド

唐津市と門司区の人口推移

次のグラフからもわかるように門司区は、1965年ごろをピークに、その後、人口が減り続けていますが、唐津市は、2005年に人口が大幅に増えています。これは2005年に唐津市と東松浦郡浜玉町・厳木町・相知町・北波多村・肥前町・鎮西町・呼子町が合併したからです。これによって、唐津市は佐賀県内で2番目に大きく、人口の多い市になりました。また、門司区は北九州の7つの区の中で4番目に人口の多い区です。



1920年～2015年(5年おき)
唐津市の人口と人口増加率

1920年～2015年(5年おき)
門司区の人口と人口増加率

唐津市と門司区の産業

私は人口の点から両地域とも高齢者が多いので農業や林業が盛んだと考えていました。しかし調べてみると実際は、唐津市では水産業が盛んであり、上場水揚量が約3万6千トンと全国的にも多く、特にイカの漁獲量は、九州内でベスト5に入るほど盛んです。また、呼子のイカとしてブランド化もされています。

門司区の産業は、昔は筑豊の石炭の輸出港として栄えていましたが、第二次世界大戦時に主要な貿易先であった中国との国交が途絶えてしまい、門司区の地位は低下しました。今では、門司港レトロなど昔の風景を生かした観光業が盛んです。

このように唐津市と門司区は、高齢者が多い点が一緒でも、歴史や近くにあるものが全く違うため盛んな産業や有名なものが全く違いました。

唐津市と門司区の行事

門司区には下関市と共同で行う関門海峡花火大会がありますが、唐津市には夏の風物詩となっている九州花火大会があります。関門海峡花火大会は毎年8月13日に関門海峡の海上で打ち上げられますが、九州花火大会は唐津湾から打ち上げられ、唐津城をバックに見える花火はとても人気です。両方とも海に面した地形を生かして大規模に行う、その地域を代表する花火大会です。他の行事では唐津市には唐津くんちと呼ばれる、400年近くの歴史があり、ユネスコ無形文化遺産にも登録される日本を代表する祭りもあります。ちなみに門司区では規模は小さいですが、門司みなと祭りという祭りが 있습니다。



九州花火大会



関門海峡花火大会

あとがき

今回この調べ学習で唐津市と今まで住んでいた門司区を比較してみて、歴史や特産物には全く共通点はなかったけれど、有名な花火大会があったり、年代別による人口の偏り具合が近かったり、意外なところでの共通点に気付くことができました。まだまだよくわからないところもあったけれど、これからもっと授業などを通して、新しく身近な場所になる唐津市について学んでいきたいと思います。

○本学習の成果

- ① 本校所在地である唐津市に対する空間的理解を深めた。
- ② 総合的な学習など地域学習への連携
→本授業実践により、中学一年生の地域学習がより多面的・多角的な視点から実施できるようになった。
- ③ 事前学習としての効果
→本校のように学校所在地以外からの生徒が多い学校や他の市町村に位置する学校との交流の際に事前学習として、GISなどを用いて、学習することでその地域について一定の理解を得ることが可能に。

現在の学習へのつながり

【現在の学習内容】

（中学1年生）

- ・九州の学習の中で、唐津の事例を紹介。
- 現在の帝国書院の教科書には、「唐津」に関する記載はないものの、大正7年帝国書院『帝国地理』には唐津に関する記載があることを利用したり、唐津市の観光を事例に授業を展開したりしている。

（高校1年生）

- ・地図の学習内で、唐津の地図を用いて、地図表現の学習を展開。
- ・唐津市にある地形などを事例に学習。

今後の課題

- ・今回は、コロナウイルス流行のため、実際に地域調査に出かけることができなかった。
→唐津を事例に生徒が主体となって、活動・問題解決していく「地域学習」を展開していきたい。
- ・地図ソフトを実際に生徒が利用して、地図を作成する授業実践が行えていない。
→統計資料の提示や地域学習のまとめに活用できるような授業実践を行えるように今後も精進していきたい。

ご清聴ありがとうございました。

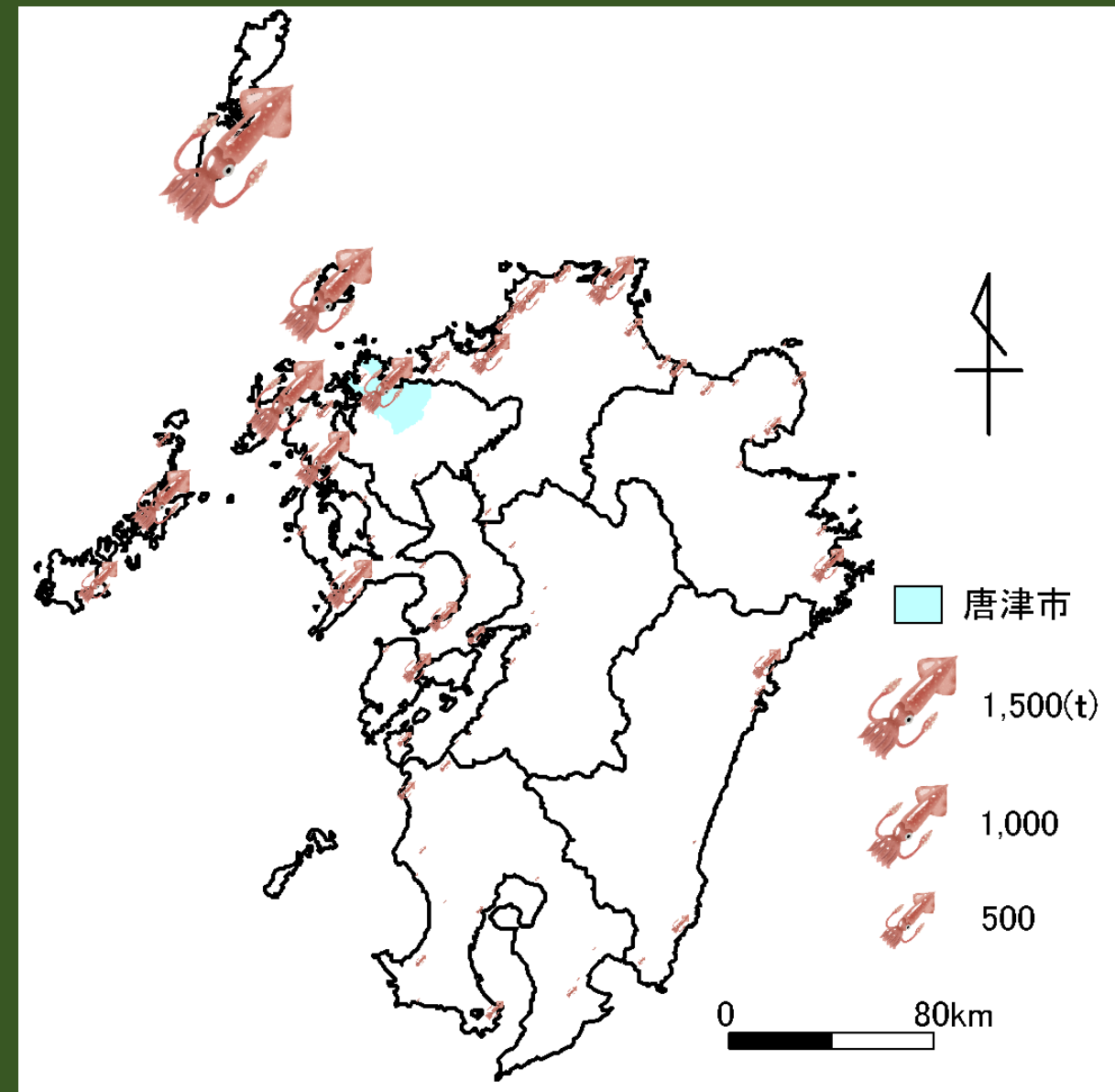


図9: 九州の市町村別イカの漁獲量(2018)
農林水産関係市町村別統計(2018)より作成